

リハビリテーション・ケア合同研究大会 久留米 2017
シンポジウム 地域リハビリテーション活動支援事業の実践
～行政とリハ職の新たな連携～

リハビリテーション専門職 医療現場の立場から

～大分県杵築市～



杵築市立山香病院
リハビリテーション科
作業療法士長
篠原美穂



Kitsuki City Yamaga Hospital
October 21, 2017

リハビリテーション・ケア合同研究大会 C O I 開示

筆頭発表者名：篠原美穂

発表に関連し、発表者らに開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

本日の内容

1. 当院の紹介
2. 介護予防普及啓発事業
3. 事業所に対するリハ職派遣事業
4. 介護予防・生活支援サービス事業
5. 地域リハ活動支援事業の拡充のために
6. まとめにかえて

大分県 杵築市

総人口 : 30,486 人
高齢化率: 34.6 %
(H29年3月末)



★地域リハビリテーション広域支援センター



国民健康保険診療施設(国保直診)

病床数 **138床**

一般病床	90床
------	-----

地域包括ケア病床 30床

医療療養病床 18床

総合診療科・内科・外科胃腸科・整形外科・循環器科・眼科・小児科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・皮膚科・呼吸器内科・神経内科・リハ科

看護配置 10 : 1

疾患別リハ届け

脳血管 I 運動器 I 呼吸器 I
心大血管 I がんリハ

PT 17名、OT 11名、ST 3名

老健施設 50床

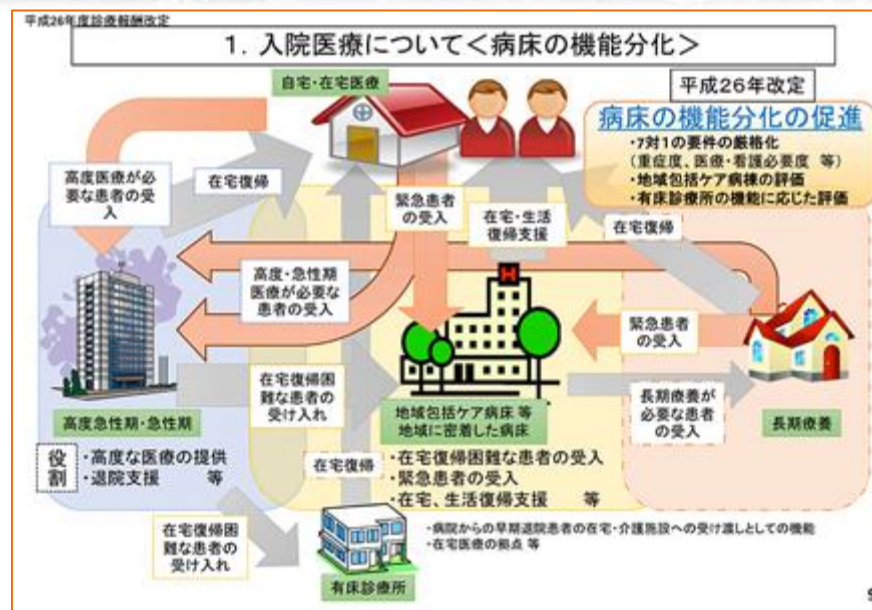
通所リハ 50名/日

健診センター

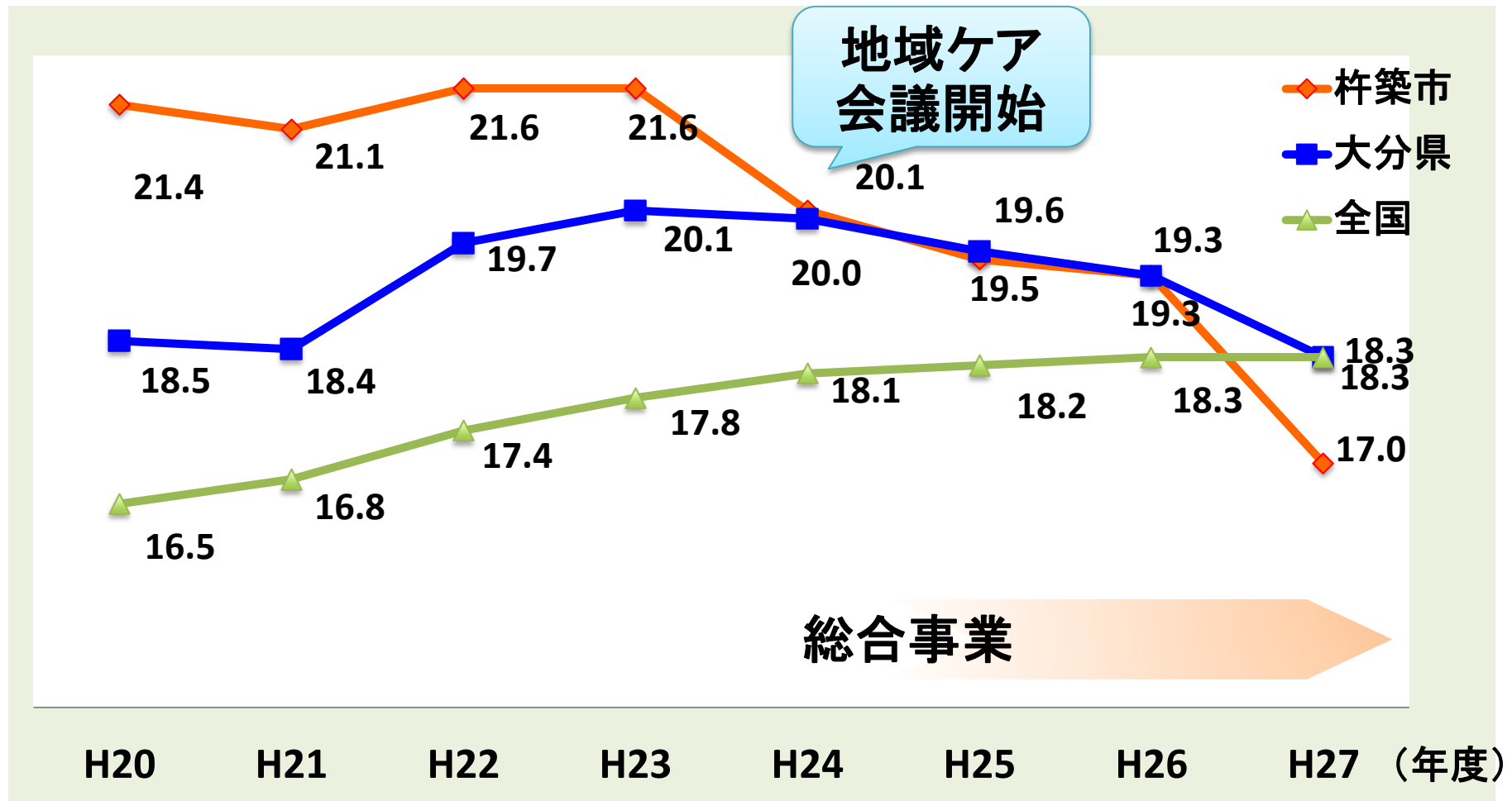
院内保育所

病児保育所

居宅介護支援事業所
訪問看護事業所
訪問介護事業所



大分県 杵築市 要介護認定率の推移(%)



厚生労働省「介護保険事業状況報告」,

<http://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/toukei/joukyou.html> より作成

地域ケア会議 (水曜日)

- H28年度から
- 全世代対応
(障がい者、生活困窮者、子ども子育て)
 - 医師参加型

杵築市 各課・係

医療政策	地域包括 ケア推進	障害福祉	生活支援	子ども 福祉	健康長寿あ んしん
------	--------------	------	------	-----------	--------------

介護
保険係

(司会)

コーディネータ
課長



事業所

ケアマネ

福祉用具
住宅改修業者

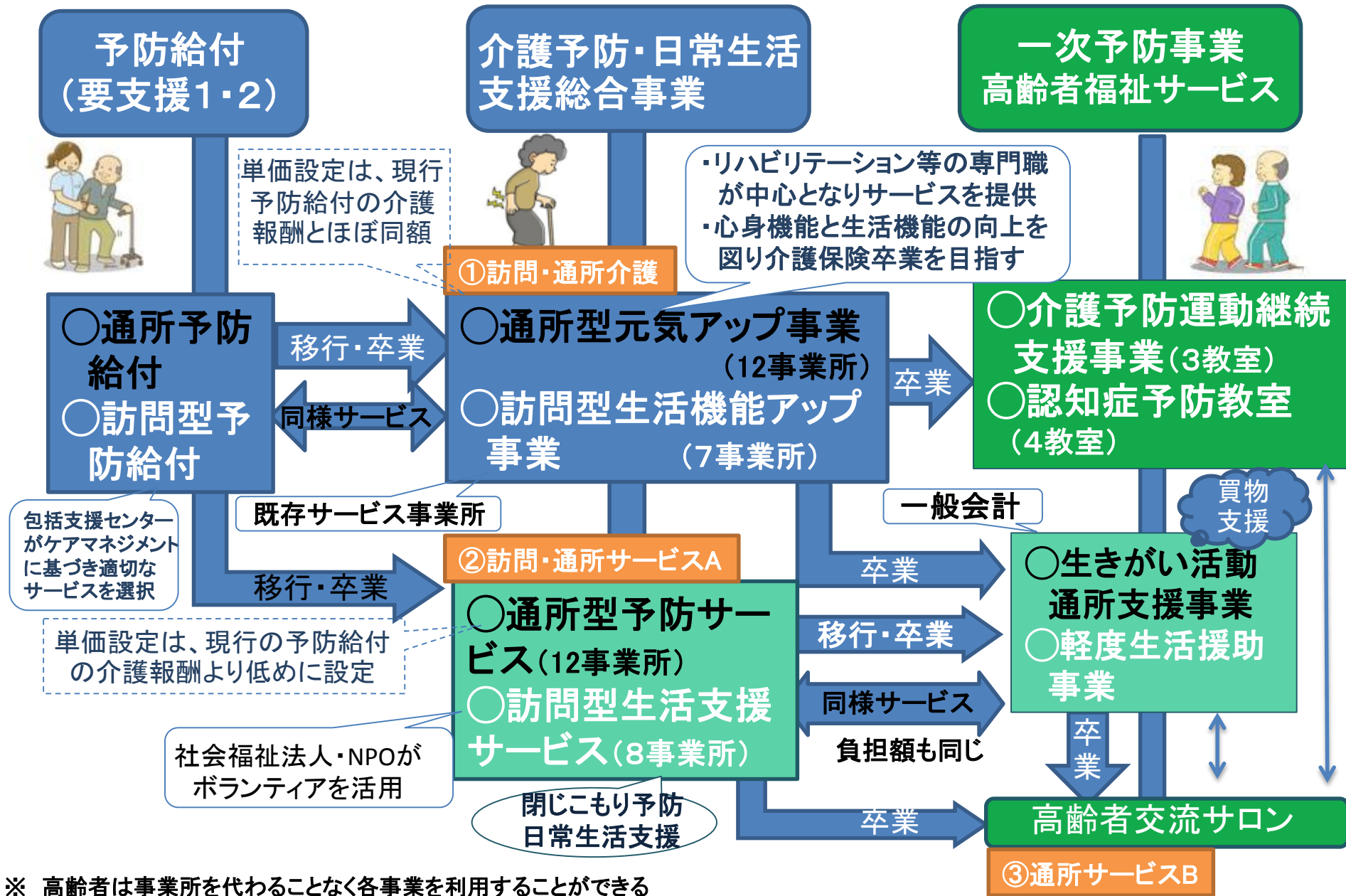
担当者

理学/作業 療法士	言語聴覚士 薬剤師	歯科 衛生士	管理 栄養士	地域支援コー ディネータ	地域包括 支援センター
--------------	--------------	-----------	-----------	-----------------	----------------

助言者

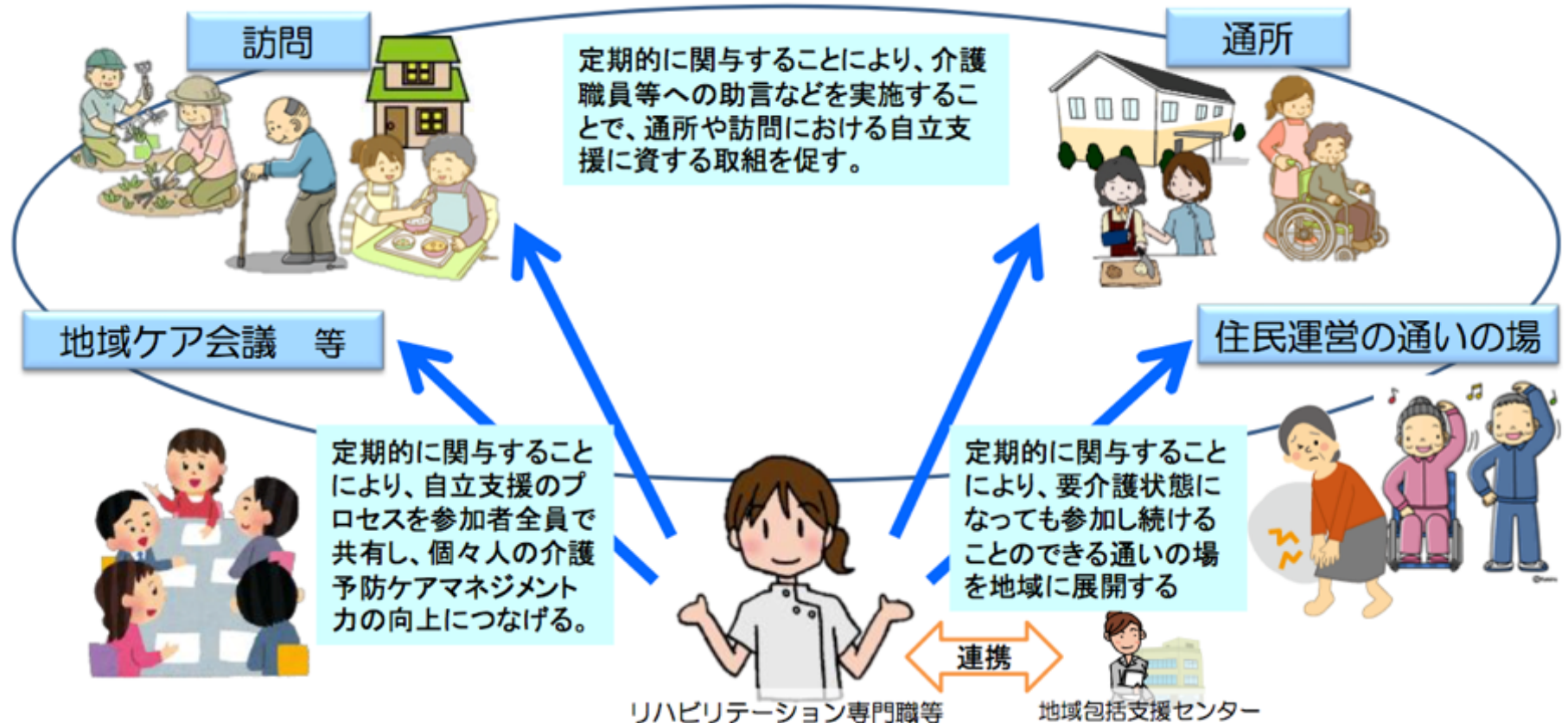
介護予防・生活支援サービス事業の体系図

杵築市第6期介護
計画資料P73より



地域リハビリテーション活動支援事業の概要

○ 地域における介護予防の取組を機能強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進する。



リハビリテーション専門職等は、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等の介護予防の取組を地域包括支援センターと連携しながら総合的に支援する。

介護予防普及啓発事業



介護予防運動継続教室

ひまわり会 (山香病院)

H28年度
参加延べ人数
約：190名



さかしい会 (太田庁舎)

H28年度
参加延べ人数
約：110名



➤開催頻度：毎月1回

➤所要時間：約120分

➤参加職種：2名…

理学療法士・作業療法士・

言語聴覚士・看護師・介護福祉士・

参加のきっかけ

- ・介護保険卒業の受け皿
- ・利用者が誘い合って
- ・包括支援センタースタッフの誘い

当院退院後、健診後に紹介
など

運動内容

- めじろん元気アップ体操
(大分県版介護予防体操)
- 結果の出せるトレーニングマニュアル
(大分県理学療法士協会)
- ゲーム形式の認知症予防運動、
口腔体操など



- 利用者の様態にあった個別プログラムの作成
- 参加者には自己チェックシートを配布

氏名: _____

目標 _____

体操プログラム: _____

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	*体操ができた日には○をつけましょう。			

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	*体操ができた日には○をつけましょう。			

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	*体操ができた日には○をつけましょう。			

結果 (平均)

N=14 (登録 31 名)
平均年齢: 79.2±6.1 歳

評価項目	初回 H27,5	中間 H27,12	最終 H28,5	
握力(kg)	21.7	21.2	22.1	NS
開眼片脚立位(秒)	30.8	33.0	34.8	NS
TUG(秒)	8.6	7.5	7.0	* * * *
5m歩行(秒)	4.1	4.1	3.3	* * * * *
CS-30(回)	17.7	19.2	19.5	NS
LSA(点)	79.1	91.2	93.4	* * *
転倒自己効力感(点)	33.0	34.7	37.2	* * *

* 初期・中間 * * 中間・最終 * * * 初期・最終 (P<0.05) NS: Not Significant

- 生活空間の拡大や下肢機能の向上が図れた。
- 生活習慣の見直しや介護予防への関心が高まった。

教室運営を行う人材育成を目的に、平成28年度より 「介護予防体操サポーター」育成講習を実施 (1回/月、計7回)

～お口の健康について～



口腔、嚥下、
認知症など

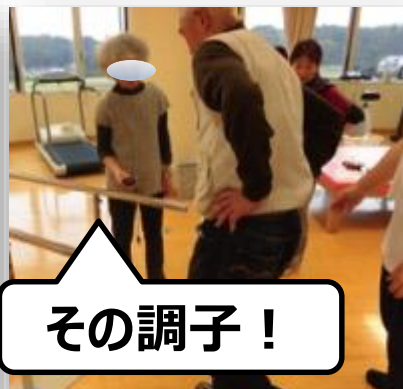
しっかり握って！

体力測定

よーい、
スタート！



握力



その調子！

片脚立位

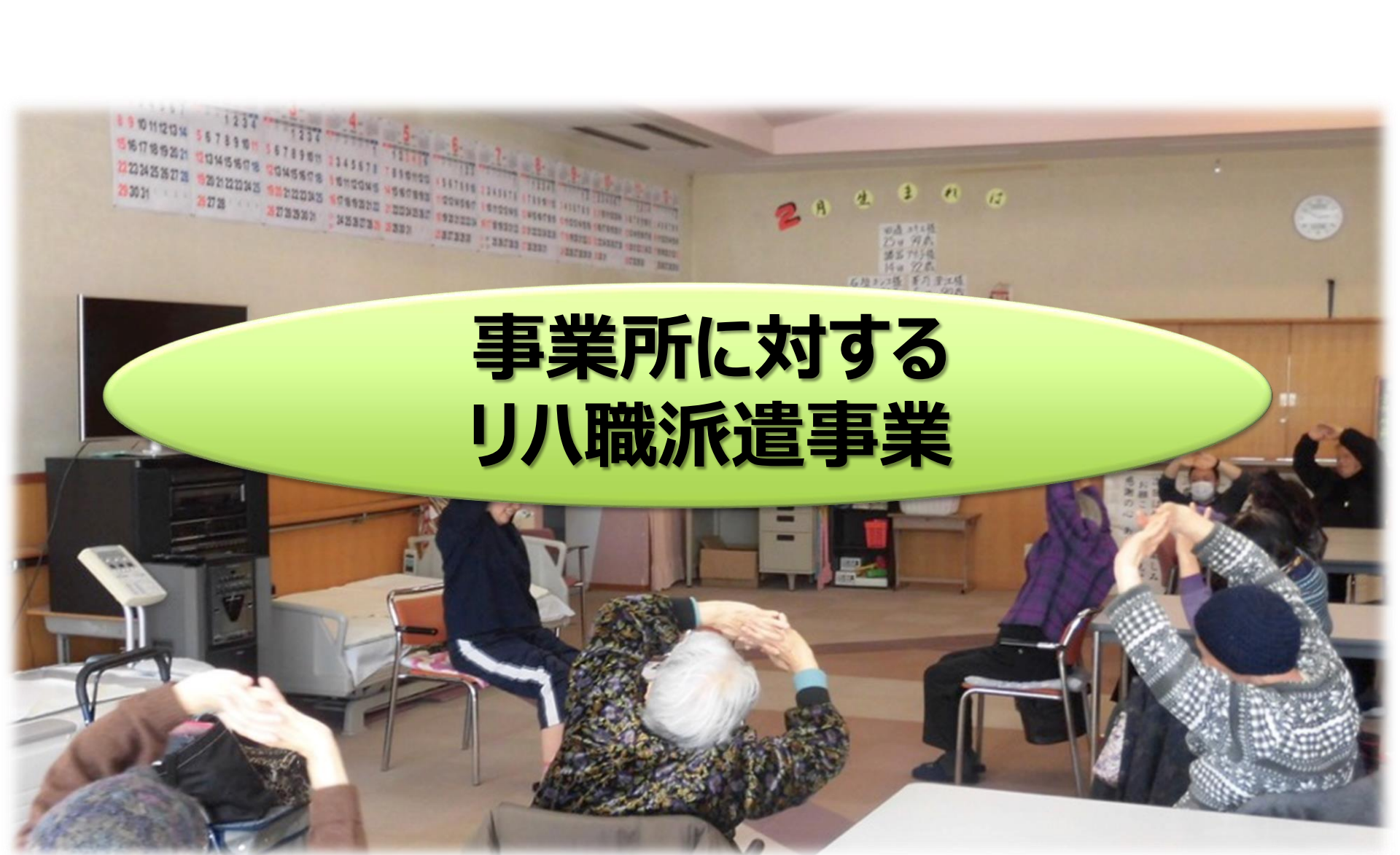


転倒に気を
付けて！

CS-30



TUG



事業所に対する リハ職派遣事業

平成29年3月16日（木） 平成28年度地域リハビリテーション活動支援事業 活動報告 より再編



Kitsuki City Yamaga Hospital
K.Eitoku, 2017

リハビリテーション専門職等を活かした 介護予防の機能強化

目 的

通所事業所利用者の自立度向上を支援できるように通所介護職員のスキルアップをはかり、より効果的なサービスの提供ができるようにする。

内 容

通所介護事業所に定期的に関与することにより、介護職員等への助言などを実施することで、通所における自立支援に資する取組みを促す。



事業の概要

事業所については公募

① 運動機能強化型

対象事業所：運動機能向上に重点を置く 2事業所
開催回数：月2回(1回2時間程度)4か月(8回)

② 運動機能維持型

対象事業所：交流を中心とする 2事業所
開催回数：月1回(1回2時間程度)3か月(4回)

県のモデル事業「地域包括支援センターリハ職等配置支援事業」
をふまえてプランを作る



機能維持が主体の施設向けには…
基本的なアセスメント方法と
運動方法、リスク管理
から入るのは？



運動機能強化型

事前ケースカンファレンス・学習

支援初日：初期評価

2回目支援

3回目支援：中間評価

4・5・6回目支援
(口腔・栄養・認知症に
対する指導) 中間評価

最終評価

最終ケースカンファレンス

計8回
4ヶ月

1. 基本情報に基づいた生活機能の課題分析と目標の設定
2. 初期・中間体力測定の結果から運動メニューの立案
3. 体力測定方法やリスク管理と運動負荷量の確認
4. 口腔・栄養改善および認知症予防に対する評価とメニューの提案

- ・対象者は4～5名 2回/週の事業所を利用
- ・自宅での運動(自己訓練)を実施

運動機能維持型

事前ケースカンファレンス・学習

支援初日：初期評価

2回目支援：中間評価

最終評価

最終ケースカンファレンス

1. 基本情報に基づいた生活機能の課題分析と目標の設定
2. 初期体力測定の結果から運動メニューの立案
3. 体力測定方法やリスク管理と運動負荷量の確認

- ・対象者は2～3名 2回/週 事業所を利用
- ・自宅での運動(自己訓練)を実施

強化型

80歳代, 男性, 要支援1, 妻との2人暮らし
狭心症, 慢性呼吸不全, 高血圧

生活行為	事前の内容	事前	事後	事後の内容
屋外歩行	・自宅周辺限定的 ・杖を使用し、休憩しながら100m程度は何とか可能	○2	○2	連続200m程度は負担なく可能
外出頻度	・デイサービスに週2回 ・天気の良い日は近隣の散歩を行うが頻度は減少	△1	○2	毎日の散歩が継続して行え、隣人との交流も増加
社会参加	・畳の所が多く、地域の行事には参加できていない	△1	△1	デイサービス利用者に努めて声掛けしている

【自立度】 ○2:自立 少し難しい △1:一部介助 改善可能性高い

生活機能評価:埼玉県和光市作成 を一部改変

開眼片脚立位 1秒 ➡ 4.8秒
5m歩行時間 15.7秒 ➡ 14.5秒

TUG 36.5秒 ➡ 27.6秒
CS30 3回 ➡ 7回

事業所へのリハ職派遣事業で感じた事

- 利用者の生活課題に対して、職員間で共有できている
- 栄養改善や口腔機能向上への取り組みもなされている
- 運動やレクリエーションのバリエーションがある
- 定期的に評価が行えていない、評価の項目が少ない
- 運動負荷量が全体的に少なめ
- 重度者や認知症の利用者への関わりに苦労している

- 運動中の姿勢や声のかけ方、動かすスピードが理解できた
- 個人のリスクや体調を確認しながら、回数やメニュー変更が出来るようになった
- 利用者の変化が確認でき、職員のモチベーションも向上した
- 今まで以上に利用者の生活に興味を持つようになった

事業所
スタッフより

介護予防・生活支援サービス事業



サービスの類型

訪問型サービス

※ 市町村はこの例を踏まえて、地域の実情に応じた、サービス内容を検討する。

- 訪問型サービスは、現行の訪問介護に相当するものと、それ以外の多様なサービスからなる。
- 多様なサービスについては、雇用労働者が行う緩和した基準によるサービスと、住民主体による支援、保健・医療の専門職が短期集中で行うサービス、移動支援を想定。

基準	現行の訪問介護相当	多様なサービス			
サービス種別	①訪問介護	②訪問型サービスA (緩和した基準によるサービス)	③訪問型サービスB (住民主体による支援)	④訪問型サービスC (短期集中予防サービス)	⑤訪問型サービスD (移動支援)
サービス内容	訪問介護員による身体介護、生活援助	生活援助等	住民主体の自主活動として行う生活援助等	保健師等による居宅での相談指導等	移送前後の生活支援
対象者とサービス提供の考え方	○既にサービスを利用しているケースで、サービスの利用の継続が必要なケース ○以下のような訪問介護員によるサービスが必要なケース (例) ・認知機能の低下により日常生活に支障がある症状・行動を伴う者 ・退院直後で状態が変化しやすく、専門的サービスが特に必要な者 等 ※状態等を踏まえながら、多様なサービスを利用していくことが	○状態等を踏まえながら、住民主体による支援等「多様なサービス」の利用を促進		・体力の改善に向けた支援が必要なケース ・ADL・IADLの改善に向けた支援が必要なケース ※3～6ヶ月の短期間で行う	訪問型サービスBに準じる
実施方法	事業主	助成	助成	直接実施／委託	
基準	介護給付の		介護給付の	内容に応じた独自の基準	
サービス提供者(例)	(訪問介護)		ボランティア	保健・医療の専門職(市町村)	

この地域に
短期集中予防サービス
がない…
訪問と通所が連動した
サービスはどうか



ウェアリング・オフ現象、手足のふるえやふらつきが著明

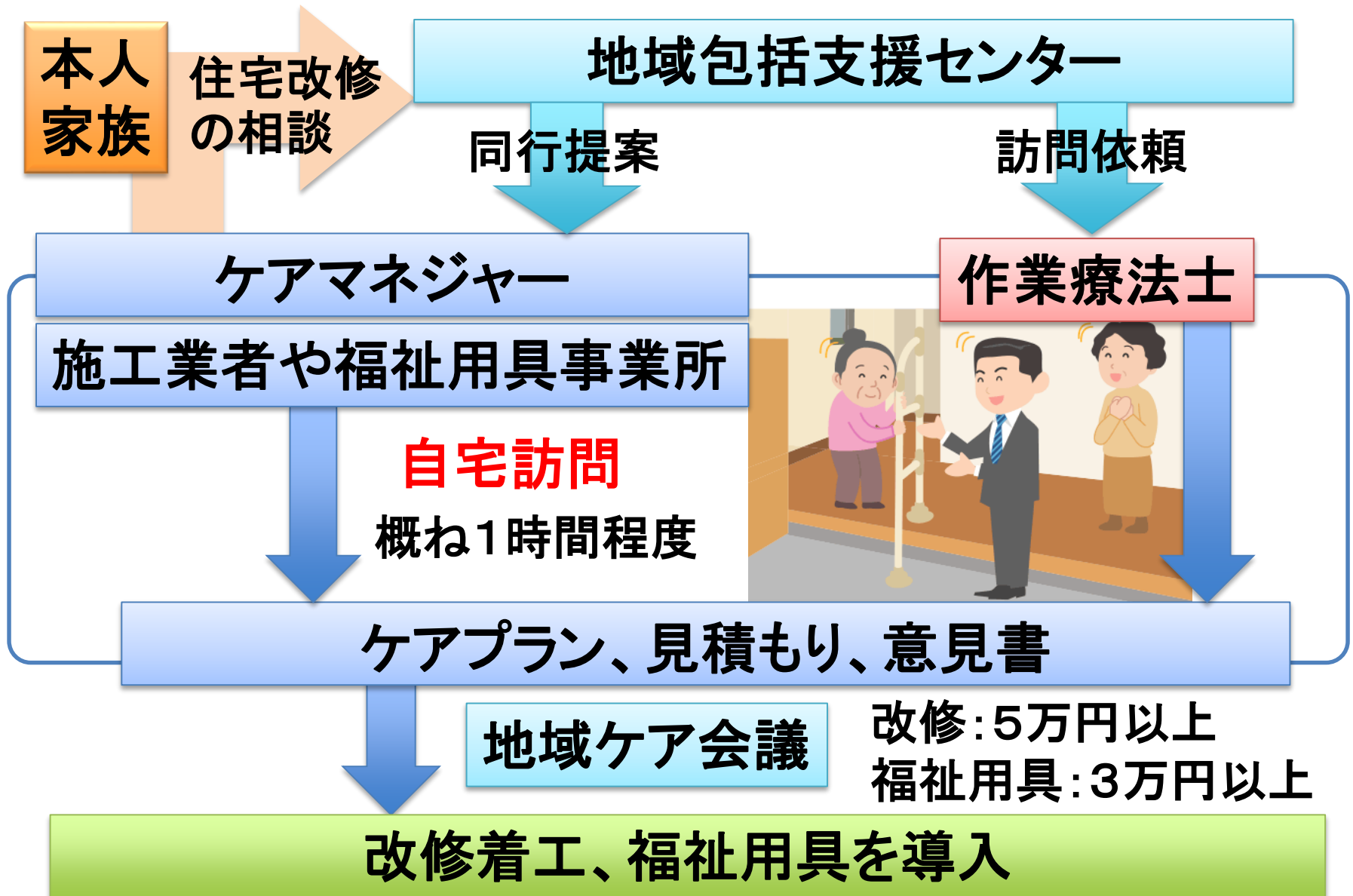
ベッドからの立ち上がり用手すり

-

歩行が安定しセーフ
ティーアームと浴室手
すりの利用は減った
が「症状の変動が不
安なので必要」(本人)

項目	ケアプラン	6カ月経過 再訪問時
目 標	自宅内を歩行器で移動できる	達成(伝い歩き、独歩)
	トイレ、入浴が不安なく行える	達成
サービス	通院4/週 から 変更し C型訪問リハとC型通所リハ 3カ月	介護予防訪問リハ _{期間限定} 通所型元気アップ _{期間限定}

住宅改修アセスメント訪問の流れ



出前講座

- ◆サロン
- ◆ボランティアグループ
- ◆認知症予防教室(自主グループ)
- ◆自治体活動
- ◆イベント



地域リハ活動支援事業の拡充のために



事業を通して実感している課題

1. 人員の確保
2. 人材の育成
3. 医療、介護施策との連動

1. 人員の確保

事業の受託形態

市と当院間で 契約

- 年間委託事業
- 単独事業（介護予防サポーター養成講座講師など）

職能団体を介 して

- リハ職派遣事業（地域ケア会議、医療・介護連携推進協議会など）

当院の独自 事業

- 事業所からの依頼
- 市民団体からの依頼

大分県リハ指導者等確保促進事業

行政 専門職団体 NPO 各種団体

地域ケア会議、リハ職派遣事業など

依頼



返信



大分県リハ専門職団体
協議会



公社)大分県理学療法士協会
公社)大分件作業療法協会
公社)大分県言語聴覚士協会

調整



人材派遣登録者(会員)



派遣



大分県

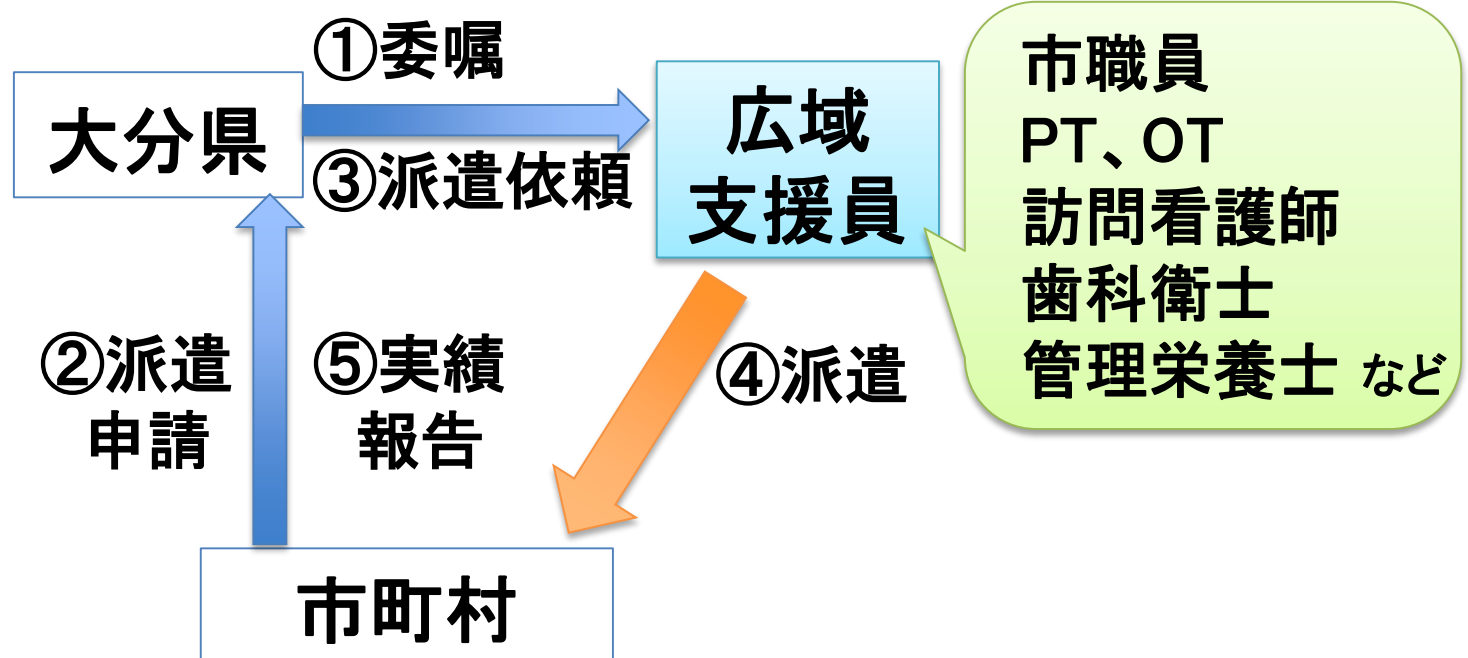
リハ職の勤務先に
派遣協力依頼発出

窓口の一本化
(H29年度～)

- 人材確保(調整)
- 人材バンク
- 人材のマッチング

広域支援員派遣事業

県内の地域ケア会議実践者(モデル市職員等)を「広域支援員」に委嘱し、依頼のあった市町村に派遣し助言等を行う



- 地域ケア会議への助言
- 職員への個別指導 等
- 市町村で行う研修会の講師

事業のコストについて（H28年度、リハ科）

市と当院の契約事業の報酬

運動継続教室 24 回 ￥384,000

事業所支援 16 回 ￥155,520

住宅改修訪問 8 回 ￥44,800

計 ￥584,320

移動時間
事務・連絡調整…？

単位あたりの報酬

$48\text{回} \times 2\text{時間} \times 3\text{単位} \times$
 $¥2,000 = ¥576,000$

$¥584,320 - ¥576,000 = ¥12,000$

職能団体を介した事業

地域ケア会議 22 回

杵築市介護連携推進会議 8 回

当院のサービス事業

出前講座 16 回

2. 人材の育成

大分県

実務マニュアル

- ・ アセスメント方法と様式各種
- ・ リスク管理や緊急時対応

- 地域ケア会議市町村レベルアップ研修
(市町村職員、地域包括支援センター職員)
- 介護予防(訪問介護・通所介護)職員育成推進事業
- その他市町村を広域的に支援する研修等

自立支援型通所サービス
生活機能向上支援マニュアル

平成26年7月

大分県福祉保健部高齢者福祉課

自立支援ヘルパー
実務マニュアル

平成27年12月

大分県福祉保健部高齢者福祉課

執筆

(公社)大分県理学療法士協会
(公社)大分県作業療法士協会
(公社)大分県言語聴覚士協会
(一社)歯科衛生士会
(公社)栄養士会
(株)ライフリー デイサービス楽
杵築市高齢者支援課

大分県リハ職スキルアップ研修

地域ケア会議や介護予防事業等において、適切な助言・指導等を行うことができるリハ職等の育成

大分県

委託

委託先

公社)大分県理学療法士協会
公社)大分県作業療法協会
公社)大分県栄養士会
一社)大分県歯科衛生士会

地域で活躍(通用)するリハビリテーション専門職等の育成

各市町村における取組みの充実・強化

まとめにかえて

地域リハ活動支援事業は

- ◆ 病院を住民の方々に知ってもらえる機会
- ◆ 病院職員が地域資源を知ることができる
- ◆ 地域包括支援センターや事業所とのつながり
ができる
- ◆ 組織の一員として業務構築する視点が不可欠
- ◆ 人員、人材、財政基盤の確保が必要
- ◆ 専門家主導ではなく住民、利用者が主役



市民、事業所、行政とともにまちづくり
にとりくむ活動へ



当院の理念

保健・医療・福祉の一体化
を目指して、患者さんから
信頼され愛される病院となる
よう努力します。

*From
Yamaga*



Kitsuki City Yamaga Hospital
M.Shinohara